

株式会社丸エム製作所

ねじを柱とする 「サポーター・インダストリー」



**日本初、
ステンレスねじの量産に成功！**

昭和32年、日本で初めてステンレスねじの量産に成功した丸エム製作所。以来、同社は多種多様なねじ・締結パーツ製品を開発し、国内産業の発展に寄与してきた。

製品の使用分野は、住宅・建築材、船舶、環境機器、家電・弱電・電子機器、自動車等あらゆる産業を網羅しており、近年は太陽光発電や燃料電池といった新エネルギー分野にも進出している。

自慢のステンレスねじ群

ステンレスねじを専門として製品開発に取り組んできた同社。高強度・高耐食性・高靱性を備えた「パーフェクトステンレス」、優れた耐海水性、耐酸性、応力腐食割れ抵抗を持つ「マリンステンレス」等、現場ニーズを確実に捉えた製品を世に送り出してきた。また、汎用オーステナイト系と同等の耐食性・強度を持ち、強磁性によりマグネット工具が利用できる高機能フェライト系ステンレス「SF（スーパーフェライト）・160α」を開発。

経営姿勢の一つとして「創意工夫によるオリジナル商品の提供」を掲げる松元収社長。このようなステンレスへの多角的なアプローチが同社の真骨頂だ。

樹脂、マグネシウム、チタン…… 独自製品を続々開発

「常にチャレンジングな姿勢で、責任を持って、自由にそして創造的に行動する」と松元社長が語る通り、丸エム製作所では、ステンレス以外の材料にも注目し、長年の経験で培われた技術力を駆使して、次々に独自の製品を作り出している。

例えば、高強度エンジニアリングプラスチックねじの「FASNY（ファスニー）」や、タイヤカーペットに取り付けることで視覚障害者を誘導する「ナビマーカー」。これら製品の材料は、ステンレスではなく、ポリアミド系樹脂と呼ばれるものである。

また比重がステンレスの4分の1と、構造用金属の中で最も軽いマグネシウムを使用したマグネシウム合金

ねじは、同社が世界で最初に製品化した。他にアルミニウムやチタンを用いた製品も揃える等、開発力はもろろんのこと、同社のフィールドの広がりが見える。

「技術改革や開発におけるねじ業界のリーダーを目指す」と言い切る松元社長。今後も産業界の「サポーター・インダストリー」としての重責を担い、顧客の、引いては産業界の繁栄に貢献する構えだ。

主な事業内容

ねじ類、冷間プレス・切削部品、高強度樹脂製品、割ピン、工具・金型等の製造販売、アクセサリー等



松元 収さん
代表取締役社長

Company Profile

株式会社丸エム製作所

住所 / 〒574-0015
大阪府大東市野崎4-7-12
創業 / 昭和2年5月
設立 / 昭和26年7月
資本金 / 9,600万円
従業員 / 210名 (平成21年1月現在)
TEL / 072-863-0103
FAX / 072-863-0169

ISO 9001
ISO 14001

関西
19

<http://www.marumu.co.jp/>